



6月に続き晴天が続いております。それにしてもJR北海道の事故が多いです。頑張ってくださいJR北海道。決して地元意識から言っている訳ではありませんが、雪の降らない、いやほぼ降らない本州の人の考え方に多少思いやりを入れて欲しいと思います。そもそも1987年国鉄分割民営化の段階からJR北海道は、赤字経営を覚悟して道民の物流を担ってくれています。我々、砕石業も社会基盤整備の一助として苦しい環境の中、北海道という厳しい季節環境の中で頑張っている。互いに、安全重視と経営安定を両立する事は大事である。でも巧くいかない状況の中でJR北海道の社長がテレビで頭を下げる度、頑張ろう

と言いたくなってしまふ。

◇一般社団法人・日本砕石協会の動向…今月は、省略致します

◇北海道砕石協同組合連合会・(社)日本砕石協会北海道地方本部の動向

①採石業務管理者試験 試験日 10月11日 願書の受付は 8月28日~9月18日迄

②北海道砕石技術研究大会の日程がきまりました。9月19日札幌市で開催です。内容は後日報告。

◇道南地区砕石協同組合・(一社)日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

・理事会開催…7月16日 午後1時30分より協会事務所にて開催致しました。

議案は、①値上げの要望書の内容精査と活動について。②保証書交付に対する今後の在り方。③渡島・桧山パトロールについて。④その他事項についてであります。

①については、工事発注元である道と開発局に対して行うもので、基本として土場生産コスト単価を重視して200円/M³の値上げ要請を行うものです。要請書は、理事が直接出向いて説明して手渡す予定です。

②従前、組合として理事が同意していた保証書の在り方について、継続事業所に対しては形だけの同意書であり、責任の所在が当事者であることから組合として関与できないものと判断して取りやめました。しかし、新規事業者に対してはこの限りではなく2社以上の同意書が必要となる点は、従前通りです。

③渡島・桧山パトロールの工程を決めて両振興局に日程を決めて貰う様に要望致しました。

その中で、渡島振興局 高村指導保安係長より、従前のパトロール体制を見直して日程を1日とし、数社巡回する形を本年度取ることに致しました。渡島振興局では、(有)後藤事業所・(有)白尻物産・下海岸砂利工業(株)鉄山協和組となりました。桧山振興局は、江差採石工業(株)・(株)北辰運輸。北斗市役所は土肥建機興業(株)となりました。日程に関しては、別途報告致します。

④峯朗鉦山見学会を函館骨材販売協同組合さんが計画立案されていたので当協会も同行させて貰うことになりました。既に、案内は協会よりFAXしております。

☆特記連絡事項…「砕石作業日報」の記載について

・渡島振興局 高村指導保安係長より、数社に砕石作業日報の記載について問い合わせたところ、記載保管していないとの指摘を受けました。『採石法第34条の2に於いて採石業者は通商産業省令(現在、経済産業省令)で定めるところにより帳簿を備え、その業務に関して必要事項を記載し、保存しなくてはならない。また、岩石の採取計画等に関する規則第9条2に於いて、採石業者は、岩石採取場を管理する事務所毎に帳簿を備え、記載の日から2年間保存しなくてはならない。』としていることを採石業務管理者は実施していないことになる。協会としてどの様に指導しているのか。と言った指摘を受けて参りました。

言われたことは、至極御もつともであり口を返すつもりはありませんでしたが、各社とも砕石作業日報に類似した安全点検日報は付けていると思う。また、業務管理者の職務に対しても許可権者である振興局等の指導体制が更新性を持っていればこの様な事態はなかったと思う。今後、会員各位には協会より指導し、記載・保管を徹底するので了承して頂きたいとお願いして参りました。よって、早速、会員各位には、砕石作業日報をご購入されて記載保管して下さいの事をお願い致します。

販売は、函館支部で希望部数を取りまとめて行きたいと考えています。一冊000円です。

組合に対してのご要望・ご意見等がありましたら、いつでも連絡下さい。吉田が敏速に対応致します。よろしくお願い致します。